

週刊

愛知民報

2023年
8月27日
第2646号

発行所 日本共産党愛知県委員会
〒460-0007 名古屋市中区新栄三丁目12番25号
☎(052) 261-3461 (代表)
(052) 251-2925 (編集部) F A X (052) 261-6063
定価 月 400円 郵送料 336円 1部 100円
毎週日曜日発行 (第5日曜日は休刊)



地方議員研修会

全県議員研修会で講演する岡寄郁子党中央自治体局長＝17日、名古屋市

夏季愛知県地方議員研修会

日本共産党

住民の願い届け 綱領実現を担う

岡寄自治体局長
「全党あげて議員援助を」

日本共産党愛知県委員会は17、18の両日名古屋市内で、全県夏季地方議員研修会を開き、9月議会の準備とともに、日本共産党第8回中央委員会総会(8中総)が提起した第29回党大会成功、総選挙躍進をめざす党勢拡大・世代的継承の大運動」に打って出ることを確認しました。

1日目は、同党中央の岡寄郁子自治体局長が講演しました。岡寄氏は「日本共産党の地方議員はどのような存在か」と問いかけ、憲法が定める地方自治を実践し、異常な対米従属・財界中心の政治のゆがみをただす日本共産党綱領の民主主義革命の一翼を担うことを強調しました。

18日には田村一志宣伝局長を迎えた「SNS講座」がありました。



4月の県議選で共産党議席空白を克服した、しもおく奈歩県議が県政報告をしました。

しもおく奈歩県議 県政報告

しもおく氏は、大企業本位の県政の問題点を指摘するとともに、豪雨対策、熱中症対策などの県民の切実な要求実現の活動、議会改革の努力などを報告しました。

2024年度予算要望に向け、協力を呼びかけました。



「真ん中世代交流会」で日本共産党への要望を聞き取る、もとむら伸子衆院議員＝18日、豊田市



街頭で日本共産党への支持を呼びかける、(左から)すやま初美党副委員長・比例東海ブロック予定候補、牧田みつおみよし市議＝18日、豊田市

総選挙勝利をめざす日本共産党愛知県委員会の、全県宣伝キャラバンは18日、衆院愛知11区の豊田、みよし両市に入り、5カ所街頭演説し、同党の「真ん中世代交流会」も開かれました。

もとむら伸子衆院議員、すやま初美党副委員長(ともに比例東海ブロック予定候補)、根本みはる豊田市議、牧田みつおみよし市議が訴えました。

総選挙躍進めざす 全県宣伝キャラバン もとむら、すやま両氏全力

地方議員研修会1日目の17日は、岡寄中央自治体局長の講演(上記記事)を踏まえ、5グループで分散討論をおこないました(写真)。

分散討論は、参加者全員が、議員活動の率直な実情や悩みを出し合えるように試みられたもの。「学校給食無償化など住民要求実現」「議員団会議開催の苦労」「130%の党づくりでの努力」とともに、「1人議員の悩み」や「世代的継承の悩み」などが出されました。(順不同)。

◇「真ん中世代の」つどいを毎月開き入党者を迎えた」◇「次の」◇「世代的継承が」◇「党内に古いハ

候補者づくりを視野に入党を訴えている」◇「1人議員で大変。支部の人に相談しても議会のことは分からない。近隣の自治体で定例の議員団会議を設定し、全員がそろわない時でも定例開催して議会対応の相談をしている」◇「世代的継承が」◇「党内に古いハ

決定的で死活問題。支部指導部を選ぶことも難しくなってきた」◇「高齢化で夜の活動が困難。今年の選挙の開票速報は自分一人だけで見た」◇「議案への賛否の判断で迷うこともある。近隣自治体議員と相談している」◇「党内に古いハ

ラズメント体質が残ってしまっている。ハラズメント根絶が課題」◇「若い新人議員が途中でやめないように支えてほしい。同世代が何人もやめている」◇「議員と支部と機関の連携を」◇「党規約をあらためて勉強するいい機会になった」



夏季議員研修会
分散討論で活動交流、悩みも出し合って